



平成 22 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名     ハリマ化成株式会社  
代 表 者 名     代表取締役社長 長谷川吉弘  
                  (コード番号：4410 東証第 1 部、大証第 1 部)  
問 合 せ 先     常務取締役管理本部長 金城照夫  
                  (TEL：06-6201-2461)

## モメンティブ社のロジン関連事業買収に関するお知らせ

当社は平成22年11月30日開催の取締役会において、三菱商事株式会社と共同で米国の投資ファンドApollo Management L.P.傘下の米国化学会社モメンティブ社(Momentive Specialty Chemicals Inc. CEO：Craig O. Morrison、本社：オハイオ州)からロジン系印刷インク用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤他の事業を買収し、Lawter Inc.として運営することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 事業買収の理由

当社はロジンを主原料とした印刷インク用樹脂、粘接着剤用樹脂及び合成ゴム用乳化剤を扱う樹脂・化成品事業を戦略事業の一つと位置づけております。

一方、モメンティブ社は主として熱硬化性樹脂事業を行っている化学会社で、経営資源を熱硬化性樹脂事業に集中したい意向を持っており、この度、ロジン関連事業を切り離すことを決定し、当社へも当該事業売却に関する打診がありました。

当社は同社の事業を精査した結果、当該事業買収により当社の樹脂・化成品事業の継続的な発展拡大を実現する事が出来ると判断し、同社と交渉を行い、当該事業譲受けの合意に達しました。

モメンティブ社は当社が進出していない地域に海外製造拠点を有しており、当該事業取得により地域補完ができ、世界地域で偏りのない事業展開が可能となります。この結果、当社の海外売上比率、利益比率はいずれも50%を超えることとなります。

### 2. 事業買収価格

120 百万ドル (約 100 億円)

### 3. 事業買収の相手先の概要

- (1) 名 称 Momentive Specialty Chemicals Inc.
- (2) 所 在 地 米国 オハイオ州
- (3) 代表者の役職・氏名 Craig O. Morrison, President, CEO and Chairman of the Board
- (4) 事 業 内 容 熱硬化性樹脂（エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、フェノール樹脂）、ロジン関連製品（印刷インク用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤、テレピン精留油等）の研究開発、製造、販売、国際貿易、関連サービス
- (5) 資 本 金 508 百万ドル
- (6) 設 立 年 月 日 2010 年 10 月 1 日
- (7) 大株主及び持株比率 Momentive Performance Materials Holdings Inc. (100%)
- (8) 上場会社と当該会社との間の関係
- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 資 本 関 係               | 該当事項はありません |
| 人 的 関 係               | 該当事項はありません |
| 取 引 関 係               | 該当事項はありません |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません |

### 4. 三菱商事株式会社の概要

- (1) 所 在 地 東京都千代田区丸の内
- (3) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 小林健
- (4) 事 業 内 容 総合商社
- (5) 資 本 金 2,033 億円
- (6) 設 立 年 月 日 1950 年 4 月
- (7) 大株主及び持株比率 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口 (7.28%)
- (8) 上場会社と当該会社との間の関係
- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 資 本 関 係               | 該当事項はありません |
| 人 的 関 係               | 該当事項はありません |
| 取 引 関 係               | 該当事項はありません |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません |

### 5. 事業買収の方法

三菱商事株式会社と当社共同で設立する新会社（当社出資比率は90%以上）が事業を取得し、運営を行います。

## 6. 買収事業の概要 (2009 年)

- (1) 売上高 278 百万ドル (260 億円)
- (2) 営業利益 7 百万ドル ( 7 億円)
- (3) 総資産 156 百万ドル (145 億円)
- (4) 従業員数 約 650 名
- (5) 製造拠点 オランダ (マーストリヒト)、ベルギー (カロ)、米  
国 (ジョージア州バクスレー、テネシー州ラバー  
ン)、アルゼンチン (エントレ・リオス州コンコル  
ディア)、ニュージーランド (マウントマンガヌイ)、  
中国 (福建省南平、江蘇省阜寧、広東省封開、江蘇  
省蘇州)、韓国 (群山)

為替レート 1 ドル=93.57 円

## 7. 日程

- (1) 取締役会決議 平成 22 年 11 月 30 日
- (2) 事業譲渡契約締結 平成 22 年 11 月 30 日
- (3) 事業引渡期日 平成 23 年 2 月予定

## 8. 今後の見通し

今回の事業買収に伴う、当期の業績への影響につきましては、第 4 四半期での取得となることから、影響はございません。

また、来期の業績への影響につきましては、連結売上高 285 億円、連結経常利益 10 億円の増加を見込んでおります。

(参考) 当期連結業績予想

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成 23 年 3 月期)	39,500	2,200	2,200	1,000
前期連結業績 (平成 22 年 3 月期)	33,495	1,334	1,596	951

※今後、開示が必要となる事項が決定しました場合には、速やかにお知らせ致します。

以 上

## 【注】

### 1. ロジン

ロジンは松に含まれる樹液を精製した天然樹脂で、松脂（まつやに）として一般には知られています。その生産方法によってトール油ロジン、ガムロジンなどに分類されます。

トール油ロジンは、松材よりクラフトパルプを製造する際に、松材中の樹脂成分が粗トール油と呼ばれる副産物として回収され、この粗トール油を精密蒸留（沸点の差を利用して各成分に分離、精製する方法）することによって得られます。トール油ロジンは米国、欧州、ニュージーランドの他に、日本では唯一弊社において生産されています。また、ガムロジンは、松の木の幹に傷をつけ、分泌する生松脂（なままつやに）と呼ばれる粘稠物を集め蒸留（沸点の差を利用して成分を分離する方法）することにより、低沸点成分のテレピン油を分離して得られます。ガムロジンは、中国が最大の生産国で、ブラジル、アルゼンチン、インドネシア等でも生産されています。

### 2. ロジン変性樹脂

ロジン変性樹脂とは用途に応じた特性を付与させるためにロジンへ様々な化学反応（マレイン化、エステル化、不均化、フェノール付加反応等）を行い、ロジンの硬さ、溶剤への溶けやすさ、顔料へのなじみやすさを調整した樹脂です。これらロジン変性樹脂は、塗料用樹脂、印刷インク用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム（SBR など）用乳化剤、はんだ付けフラックス等、数多くの用途に利用されています。印刷インク向けロジン変性フェノール樹脂は、インク用顔料を分散させて、紙へ印刷された後は、紙面に顔料を固着させるのに必要な樹脂の一種です。ロジン変性フェノール樹脂を使用することにより、インク用顔料の分散性が向上し、美しい色調が表現できます。

### 3. 粘接着剤用樹脂

粘接着剤用樹脂は粘着剤と接着剤に使用される樹脂の総称です。粘着剤とは寒天状で粘りのある状態を常に維持している樹脂で、接着剤とは液状で塗布して、貼り付けると固体になる樹脂です。また、接着剤は剥がすことができませんが、粘着剤は粘着付与剤の種類を変更することにより、貼り付けやすさや剥がしやすさといった粘着特性を調整することができます。粘着付与剤は粘着剤の主成分であるアクリル樹脂、エチレン酢ビ樹脂（EVA）や合成ゴム（SBR）へ配合して粘着性を与えるための樹脂で、粘着特性の制御に重要な役割を担います。

ロジン変性樹脂は梱包用の粘着テープ、両面テープなどの粘着剤に粘着付与剤として使用される他、ホットメルト接着剤（常温では固形の樹脂を加熱溶融後、塗布し冷却により固着させる接着剤）としても使用されます。

### 4. 合成ゴム用乳化剤

合成ゴム用乳化剤は、自動車タイヤに使用される合成ゴム（SBR）やABSを製造する際に使用される薬剤です。この薬剤にはロジン変性樹脂や脂肪酸のアルカリ塩

が使用されます。合成ゴム用乳化剤としてロジン変性樹脂（不均化ロジン）を使用することで、合成ゴムに必要な粘着性や加工性が向上します。

#### 5. 熱硬化性樹脂

熱硬化性樹脂は、熱をかけることにより網状構造となり硬くなる性質をもつ合成樹脂の総称で、再び熱しても軟らかくなることはありません。代表的な樹脂としてエポキシ樹脂、フェノール樹脂、不飽和ポリエステル樹脂があります。